

目 標

在宅で自立した生活がおくれる高齢者の増加

基本方針

【保健事業】

慢性疾患等のコントロール・  
重症化予防

相互に影響

一体的に  
実施

【介護予防】

高齢による心身機能低下  
（フレイル状態）の防止

基本事業

通いの場等での健康教育・相談  
フレイル状態の高齢者の把握  
（ポピュレーションアプローチ）

連 携

一体的に  
実施

ハイリスク高齢者に対する  
個別的支援  
（ハイリスクアプローチ）

立川市の重点課題

1 高齢者に対するフレイル予防の取組の視点として、歯（口腔ケア含む）と栄養のつながりの重要性が高まっており、適切な口腔ケア及び栄養の取り方を周知していくことが必要

2 健康状態が不明な高齢者の中には、フレイル状態にある方が一定数存在し、相談ができずに病状を悪化させてしまうケースも想定される。そのため、身近な場所で気軽に相談できる場の提供が必要

3 高血糖、高血圧等糖尿病関連のリスクが都平均と比べ高く、国保の事業で実施している糖尿病重症化予防を後期高齢者にも継続して実施することが必要

対応個別事業

案 1 【健康教育】ポピュレーションアプローチ  
「歯と栄養の健康教室事業」

案 2 【健康相談】ポピュレーションアプローチ  
「健康状態が不明な高齢者等への健康相談事業」

案 3 【重症化予防】ハイリスクアプローチ  
「糖尿病性腎症重症化予防事業（後期高齢者医療）」

※案 1、2 のポピュレーションアプローチ事業については、R 6 年度は、南エリア、中エリア、北エリアの市内 3 か所でモデル事業として実施し、ご利用者様の声などをもとに効果検証を行い、R 7 年度より本格実施とする。